

平成31年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

商 業

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから7ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 「高等学校学習指導要領」（平成21年3月告示）の教科「商業」及び「高等学校学習指導要領解説商業編」（平成22年5月）に関する次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 科目「総合実践」の目標及び内容について、次の文の（ア）～（オ）に当てはまる語句を答えよ。

1 目 標

（ア）の各分野に関する知識と技術を（イ）的活動を通して総合的に習得させ、（ウ）の諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を育てる。

2 内 容

- (1) （エ）に関する実践
- (2) ビジネス経済に関する実践
- (3) 会計に関する実践
- (4) （オ）に関する実践
- (5) 分野横断的・総合的な実践

(2) 科目「総合実践」の指導に当たっての留意事項を述べよ。

(3) 科目「総合実践」の内容「(5)分野横断的・総合的な実践」において、どのような指導が考えられるか具体的に述べよ。

2 次の文は、「高等学校学習指導要領」（平成21年3月告示）の第3章第3節第3款「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」からの抜粋である。これを読み、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 商業に関する各学科においては、「ビジネス基礎」及び「ア」を原則としてすべての生徒に履修させること。
- (2) 「イ」については、原則として、「ウ」を履修した後に履修させるものとする。

(1) 「ア」～「ウ」に当てはまる科目名を答えよ。

(2) 科目「ビジネス基礎」のねらいについて述べよ。

3 次の(1)～(4)の敬語の使い方について、下線部の誤りを正しく直しなさい。

(1) (取引先に対して) 当社の社長の鈴木はいらっしゃいません。

(2) (上司に対して) 昼食は何をいただきますか。

(3) (上司に対して) 部長、今日はご苦労さまでした。

(4) 明日、弊社までお伺いください。

4 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 広告の中で、消費者向けではなく、企業を対象とした広告を何というか答えよ。
- (2) 不正経理や株価操作、不透明な投資、個人情報の漏洩がないように、企業が法律や条例などを遵守することを何というか答えよ。
- (3) 顧客が購入するブランドを来店前から決めていて、店内ではほとんど比較・検討をせず、意中のブランドをすぐに購入することを何というか答えよ。
- (4) 社会的分業について、自動車製造業を例に説明せよ。

5 次の(1)～(5)の文中の(ア)～(コ)に当てはまる語句を答えなさい。

- (1) 製造業では、商品売買業と同じように(ア)期間は通常1年である。しかし、製造原価の算定を迅速に行う必要性から、普通(イ)ごとに区切って原価計算を行う。この、(イ)ごとに区切った期間を(ウ)期間という。
- (2) わが国の企業会計制度における主要な法律として、(エ)法、金融商品取引法、法人税法の3つがある。また、法律ではないが、すべての企業がその会計処理を行うに当たって守らなければならない基準として、(オ)がある。
- (3) コンピュータの五大装置とは、入力装置、(カ)装置、演算装置、出力装置、制御装置のことであり、制御装置と演算装置を併せて(キ)という。
- (4) 通信文書は、(ク)、本文、後付けの3つの大きな構成要素からなり、各要素はそれぞれに属するいくつかの小さな要素で構成されている。
- (5) システムの信頼性を高める方法として、複数のハードディスク装置をまとめて1台の装置として管理する(ケ)や、主システムと同じ構成のシステムを用意し、2台のシステムが同時に並行して同一の処理を実行し、互いの処理結果を照合しながら運用する(コ)などがある。

6 次の資料を読み、(1)～(4)の問いに答えなさい。

資料

この資料は、A商事株式会社（決算年1回）の平成〇年12月31日における総勘定元帳勘定残高と付記事項及び決算整理事項である。

元帳勘定残高（一部）

売掛金	¥1,600,000	貸倒引当金	¥ 15,000	繰越商品	¥625,000
売上	3,900,000	仕入	2,375,000	給料	360,000
広告料	60,000	支払家賃	32,500	雑費	18,000
支払利息	5,000	試用販売契約	100,000	試用仮売上	100,000

付記事項

試用販売のため、B商店に発送してあった商品¥100,000を買い取る旨の通知を受けた。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥500,000
- b. 貸倒引当金 売掛金は一般債権であり、期末残高に対し1%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
- c. 備品減価償却高 ¥15,000
- d. 家賃前払高 ¥2,500

付記事項の仕訳

(借) 売掛金	100,000	(貸) 売上	100,000
試用仮売上	100,000	試用販売契約	100,000

決算整理仕訳

a. (借) 仕入	625,000	(貸) 繰越商品	625,000
繰越商品	500,000	仕入	500,000
b. (借) 貸倒引当金繰入	2,000	(貸) 貸倒引当金	2,000
c. (借) 減価償却費	15,000	(貸) 備品減価償却累計額	15,000
d. (借) 前払家賃	2,500	(貸) 支払家賃	2,500

- (1) 付記事項について、B商店から買い取らない旨の通知を受けた場合の仕訳を答えよ。
- (2) 決算整理仕訳 a について、「売上原価」「純仕入高」という語句を用いて説明せよ。
- (3) 決算整理仕訳 b について、貸倒引当金 ¥2,000を求める計算式を答えよ。
- (4) 決算整理仕訳 d について、「当期」「繰り延べ」という語句を用いて説明せよ。

7 次の資料を読み、(1)～(3)の問いに答えなさい。

資料

この資料は、単純総合原価計算における月末仕掛品原価について、平均法を用いて計算したものである。ただし、素材は製造着手のときにすべて投入されるものとしている。

① 生産データ

月初仕掛品	200個 (加工進捗度25%)
当月投入	<u>800個</u>
合計	1,000個
月末仕掛品	<u>400個</u> (加工進捗度50%)
完成品	<u>600個</u>

② 月初仕掛品原価 ¥92,000

内訳 (素材費 ¥48,000 加工費 ¥44,000)

③ 当月製造費用 ¥930,000

内訳 (素材費 ¥180,000 工場消耗品費 ¥50,000 労務費 ¥470,000 経費 ¥230,000)

計算結果

月末仕掛品素材費 ¥91,200 月末仕掛品加工費 ¥198,500 月末仕掛品原価 ¥289,700

(1) 月末仕掛品素材費 ¥91,200を求める計算式を答えよ。

(2) 素材が製造の進行に応じて投入される場合の月末仕掛品原価について、平均法を用いて計算せよ。ただし、素材費と加工費の加工進捗度は同じものとする。

(3) 単純総合原価計算において、月末仕掛品原価を計算する理由について、「完成品原価」という語句を用いて述べよ。

8 次の資料を読み、(1)～(3)の問いに答えなさい。

資料1

この資料は、平成〇年度のC社の貸借対照表及び損益計算書である。
(単位：千円)

C社		貸借対照表		損益計算書	
流動資産	5,050	流動負債	4,950	売上高	6,900
固定資産	(ア)	固定負債	500	売上原価	(イ)
		純資産	()	売上総利益	()
	()		()	販売費及び一般管理費	1,450
				営業利益	()
				営業外収益	150
				営業外費用	100
				経常利益	1,350

資料2

この資料は、平成〇年度のD社の貸借対照表及び損益計算書である。なお、C社とD社は同種の商品を扱っている同業他社である。
(単位：千円)

D社		貸借対照表		損益計算書	
流動資産	3,170	流動負債	1,680	売上高	2,980
固定資産	3,380	固定負債	50	売上原価	1,720
		純資産	4,820	売上総利益	()
	6,550		6,550	販売費及び一般管理費	110
				営業利益	()
				営業外収益	50
				営業外費用	()
				経常利益	1,170

- 資料1の(ア)、(イ)の金額を答えよ。なお、C社の総資本経常利益率は12.0%である。
- 短期(1年以内)の支払能力が高いのは、C社、D社のどちらか答えよ。また、その理由を述べよ。
- 収益性が高いのは、C社、D社のどちらか答えよ。また、その理由を述べよ。

9 次の図を見て、下の設問に答えなさい。

図1：入力形式

気温 27 26 27 28 24 23 27

(注) 入力データは、1日から順に、日ごとに1件ずつである。

図2：出力形式

気温一覧表	
日	気温
1	27
2	26
3	27
4	28
5	24
6	23
7	27
平均	26.0

<処理条件>

- ・日数は7日とする。
- ・日ごとの気温は1日から7日まで順番に入力する。
- ・日ごとの気温から平均気温を計算する。
- ・平均気温は小数第1位まで表示する。

図3：フローチャート

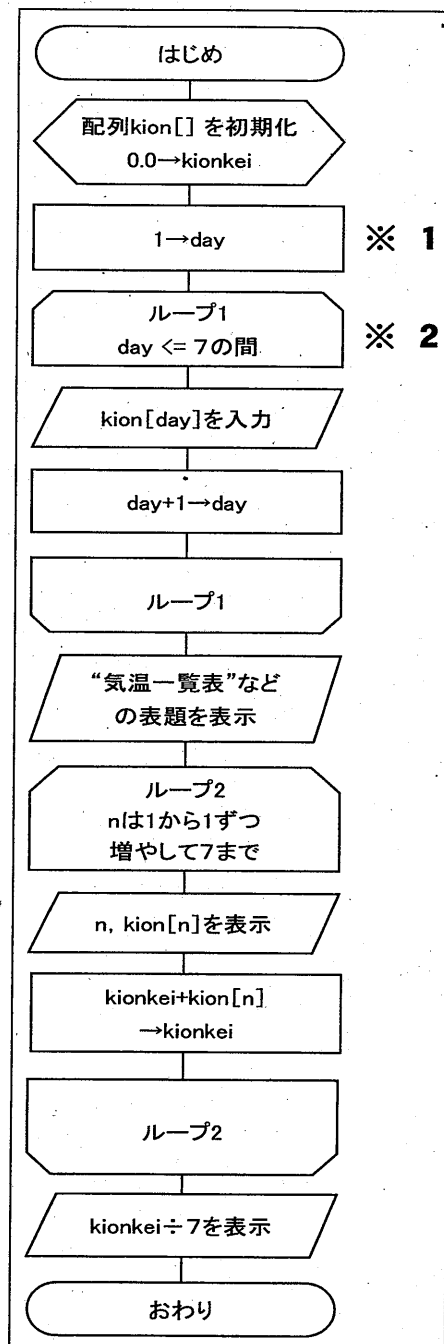


図1のデータを読み、処理条件に従って、データ全体に対する平均を含めて図2のような気温一覧表を処理結果として表示する。(1)~(4)について答えよ。

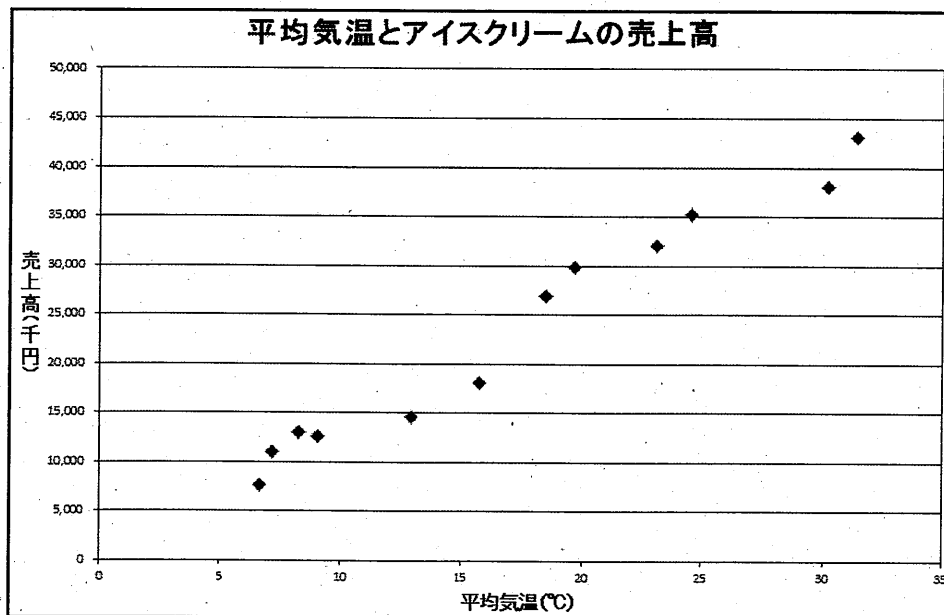
- (1) 配列を利用する場合の利点について、「変数」「添字」という語句を用いて述べよ。
- (2) 図3中のループ1はどのような処理をしているか、配列名を用いて説明せよ。
- (3) 図3中のループ2はどのような処理をしているか、変数名を用いて説明せよ。
- (4) 図3中の ※1 の処理を「0->day」に変更した場合、フローチャートを数か所変更する必要があるが、※2 についてどのように変更すればよいか書け。

10 次の図を見て、(1)～(3)の問いに答えなさい。

図 1

	A	B	C	D
1				
2	平均気温とアイスクリーム売上集計			
3				
4		平均気温 (℃)	売上高 (千円)	平均売上高との 比較 (千円)
5	1月	6.7	7,604	-15,898
6	2月	7.2	11,049	-12,453
7	3月	9.1	12,587	-10,915
8	4月	15.8	17,990	-5,512
9	5月	19.7	29,908	6,406
10	6月	24.6	35,132	11,630
11	7月	30.2	37,964	14,462
12	8月	31.4	43,082	19,580
13	9月	23.1	32,119	8,617
14	10月	18.5	26,953	3,451
15	11月	12.9	14,608	-8,894
16	12月	8.3	13,024	-10,478
17	平均売上高 (千円)		23,502	

図 2



(1) 図 1 を基に、図 2 を作成している。①、②について答えよ。

① 図 1 の「平均売上高」は、1月から12月までの「売上高」の平均を求める。セルC17に設定する式を関数を用いて答えよ。ただし、整数未満は四捨五入する。

② 図 1 の「平均売上高との比較」は、次の式で求める。セルD 5に設定する式を答えよ。ただし、この式はセルD16までコピーするものとする。

「売上高 - 平均売上高」

(2) 図 2 のようなグラフを何というか答えよ。

(3) 図 2 から、どのようなことが読み取れるか述べよ。

科目	商業 解答用紙	2 枚中の 1	受験 番号	氏 名	

(31年)

1	(1)	ア		イ		ウ	
		エ		オ			
	(2)						
	(3)						
2	(1)	ア		イ		ウ	
	(2)						
3	(1)		(2)		(3)		(4)
	(2)						
4	(1)		(2)		(3)		
	(4)						
5		ア		イ		ウ	
		オ		カ		キ	
		ケ		コ			
6	(1)	(借方)			(貸方)		
	(2)						
	(3)	〈計算式〉					
	(4)						

科目	商業 解答用紙	2 枚中の 2	受験 番号	氏 名	

(31年)

7	(1)	<計算式>			
	(2)	<計算式>			
	(3)	計算結果 円 _____			
8	(1)	ア		イ	
	(2)	(社名)		(理由)	
	(3)	(社名)		(理由)	
	9	(1)			
(2)					
(3)					
(4)		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ループ1 </div>			
10	(1)	①			
		②			
	(2)				
(3)					

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	商業 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号	氏名	(31年)
----	---------	---------	------	----	-------

1	(1)	ア 商業 1点	イ 実践 1点	ウ ビジネス 1点	
		エ マーケティング 1点	オ ビジネス情報 1点		
	(2)	教科の総合的な科目としての性格を持つことから、商業の各分野で学んでいる知識と技術を総合的に応用し、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行えるようにすることが大切である。このため、内容の(1)から(5)までの中から、学科の特色に応じた実践を行い、その中で、生徒が主体的に考え、判断し、行動する学習や、地域や産業界との連携・交流を通じた実践的な学習などを取り入れるようにする。 等 3点			
(3)	商品売買業を想定して仕入・販売計画の立案、取引、会計処理を行う実践的な学習、地域産業の振興のための株式会社等の起業、経営、取引、決算などに関する実践的な学習及び取扱商品、仕入条件、販売条件などを与え、仕入数量、販売価格、広告費などを意思決定させるビジネスゲームを取り入れることなどが考えられる。 等 3点				
2	(1)	ア 課題研究 1点	イ 財務会計Ⅱ (イ)(ウ)両方正解で1点	ウ 財務会計Ⅰ	
	(2)	生産・流通・消費という経済の仕組みの中におけるビジネスの意義や役割などビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、豊かな人間性をはぐくみ、自己責任や社会貢献の意識など経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、円滑にコミュニケーションを図り、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。 また、商業を学ぶ目的や学び方、卒業後の進路などについてのガイダンスを行い、生徒の主体的な学習について考えさせるなど、学習の動機付けを図る。 等 3点			
3	(1)	おられません 1点	(2) 召し上がりますか 1点	(3) お疲れさまでした 1点	(4) お越しく下さい 1点
4	(1)	B to B広告 (ビジネス広告) 2点	(2) コンプライアンス 2点	(3) 指名買い 2点	
	(4)	社会的分業とは、1つの製造業者内で分業するのではなく、多くの企業が作業工程に関わり、1つの製品を製造することをいう。例えば、自動車製造業では、自動車を製造するために、すべての部品や材料を全部自社で製造するのではなく、タイヤ製造業者からはタイヤ、ガラス製造業者からはガラスを調達し製造している。また、自社が得意とする分野の生産活動に特化することで、自動車会社がそれらを製造するよりも、より高品質な製品をより安く提供することができる。 等 3点			
5	ア	会計 1点	イ 1か月 1点	ウ 原価計算 1点	エ 会社 1点
	オ	企業会計原則 1点	カ 記憶 1点	キ 中央処理装置 (CPU) 1点	ク 前付け 1点
	ケ	RAID 1点	コ デュアルシステム 1点		
6	(1)	(借方)		(貸方)	
		試用仮売上 100,000		試用販売契約 100,000	
					借方と貸方両方正解で3点
	(2)	3分法により記帳しているため、決算時に、期首商品棚卸高を当期の純仕入高に加えるとともに、期末商品棚卸高を減じること で、期間中の売上原価をまとめて計算している。 等 3点			
(3)	<計算式> $(1,600,000 + 100,000) \times 0.01 - 15,000 = 2,000$ 3点				
(4)	決算に当たり、正しい純損益を計算するために、支払家賃のうち、次期以降の費用となる前払高については、当期の費用の勘定から差し引くとともに、資産の勘定である前払家賃勘定に記入して、次期に繰り延べている。 3点				

科目	商業 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号	氏名
----	---------	---------	------	----

(31年)

7	(1)	$(\text{¥}48,000 + \text{¥}180,000) \times \frac{400\text{個}}{600\text{個} + 400\text{個}}$		3点			
	(2)	$(\text{¥}92,000 + \text{¥}930,000) \times \frac{400\text{個} \times 50\%}{600\text{個} + 400\text{個} \times 50\%} = \text{¥}255,500$		3点			
	(3)	<p>単純総合原価計算では、1か月間における原価要素の消費高を総合的に集計するために、月末に総製造費用を完成品原価に配分する部分と、月末仕掛品原価に配分する部分に分割しなければならないため。等</p>		4点			
8	(1)	ア	6,200	イ	4,150	2点	2点
	(2)	(社名)	D社	(理由)	短期支払能力を示す指標である流動比率を比較すると、C社は102.0%、D社は188.7%であり、D社の方が短期支払能力が高いといえる。等	1点	2点
	(3)	(社名)	D社	(理由)	収益性を示す指標である総資本経常利益率を比較すると、C社は12.0%であり、D社は17.9%である。また、同じく収益性を示す指標である売上高経常利益率を比較すると、C社は19.6%であり、D社は39.3%である。どちらの数値もD社が上回っており、D社の方が収益性が高いといえる。等	1点	2点
9	(1)	<p>日ごとの気温について、kion1、kion2というように複数の変数を使用して扱うこともできるが、変数が多くなるためにプログラムが複雑でわかりにくくなってしまいます。配列を利用することで、同じ型の多くのデータを整理して記憶させ、配列名と添字で管理できる。等</p>				4点	
	(2)	<p>7日分の気温を配列kion[]に記憶させる処理をしている。等</p>				3点	
	(3)	<p>1日から7日までの「日」と「気温」を表示するとともに、7日間の気温の平均を出すためにkionkeiに気温を合計している。等</p>				3点	
	(4)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> ループ1 day <= 6の間 </div>	又は	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> ループ1 day < 7の間 </div>	3点		
10	(1)	①	$=\text{ROUND}(\text{AVERAGE}(C5:C16), 0) \quad (\text{又は } =\text{ROUND}(\text{SUM}(C5:C16)/12, 0)) \quad \text{等}$		4点		
	(1)	②	$=C5 - C\$17 \quad (\text{又は } =C5 - \$C\$17) \quad \text{等}$		4点		
	(2)	散布図		4点			
(3)	<p>平均気温が上昇すると売上高も増加しており、平均気温と売上高には正の相関があるといえる。等</p>				4点		